

1. 第3回国際シンポジウムのプログラム

新学術領域研究第3回国際シンポジウムは、7月7日(水)～9日(金)の日程で、北海道大学スラブ研究センターで開催されます。今回は第6班「地域大国の文化的求心力と遠心力」が組織し、「ユーラシア諸国におけるアジアの自己表象」を総合テーマとしておこなわれます。目下企画されているセッションのテーマは、「中国のサブカルチャー」「文芸におけるアジア表象」「音楽における東と西」「宗教の諸側面」「国境を越える作家たち」「場所の精神」。国内をはじめ、ロシア、中国、インド、イギリス、アメリカ、ドイツ、スウェーデンの各国からユーラシア地域大国の文化専門家たちが参加の予定です。プログラムの内容は以下をご参照ください。多くの方々のご参加を期待しています。なおシンポジウムへの参加を希望される方は、「[申し込みフォーム](#)」よりご登録願います。[組織委員長 望月哲男]

新学術領域研究第3回国際シンポジウム

「ユーラシア諸国におけるアジアの自己表象」

Orient on Orient: Images of Asia in Eurasian Countries

2010年7月7日(水)～9日(金)

北海道大学スラブ研究センター4F 大会議室(403号室)

使用言語：英語

7月7日(水)

プレコンファレンス・セッション「中国におけるサブカルチャー」

Pre-conference session, 15:30 - 17:30 Sub-culture in China

Chair : **David WOLFF (SRC)**

1. **Takumasa SENNO** (Waseda University)

“Where are we going now?—Cultural change observed in common phenomena in East Asian city culture, and the start and the end of modern culture”

2. **Qili LEI** (East China Normal University, Shanghai)

“The Culture Politics of Micro-Media Era and Post-80s Generation”

3. **Zheng GU** (Fudan University, Shanghai)

“From Subculture to Contemporary Art: Cosplay in China”

Discussant : **Yingjin ZHANG** (University of California, San Diego)

Beer Party, 17:45 – 19:00

7月8日(木)

9:45 開会の辞

Akihiro IWASHITA (SRC)

第1セッション アジアの表象 I

Session 1, 10:00 -12:00 Representation of Asia 1

Chair : **Tetsuo MOCHIZUKI** (SRC)

1. **S. V. SRINIVAS** (Centre for the Study of Culture and Society, Bangalore)

“Representing Asia: Indian Cinema from Bruce Lee to Chandni Chowk to China”

2. **Irina MELNIKOVA** (Doshisha University)

“The Images of Native People of Siberia and Far East in Russian Film”

3. **Yingjin ZHANG** (University of California, San Diego)

“Contested Images of China, Japan and Russia: Landscape and Language in Purple Sunset (2001)”

Discussant : **Tadashi NAKAMURA** (Yamagata University)

第2セッション アジアの表象 II

Session 2, 13:30 -15:30 Representation of Asia 2

Chair: **Motoki NOMACHI** (SRC)

1. **Anna FLORKOVSKAYA** (V. Surikov Moscow State Academy Art Institute, the Russian Academy of Arts)

“The spirit of the Orient in the art of Moscow nonconformists of 1960-1980s”

2. **Xiong YING** (Hokkaido University)

“Becoming of ‘Asia’: on the Adaptations of a Popular Chinese Tale, The White-haired Girl (Baimao Nü)”

3. **Kana TOMIZAWA (KITAZAWA)** (The University of Tokyo)

“Sympathy and Prejudice: Late 18th Century British "Orientalists" and their Ambiguous Attitudes towards India”

Discussant: **Kyohei NORIMATSU** (The University of Tokyo)

第3セッション 音楽における東と西

Session 3, 15:45 -17:45 West and East in Music

Chair : **Yoshio SUGIMOTO** (National Museum of Ethnology)

1. **Takako INOUE** (Daito Bunka University)

“The Reception of Western Music in South India around 1800”

2. **Bennett ZON** (Durham University)

“Representing Non-Western (Asian) Music in the Nineteenth-Century Britain”

3. **Norio UMETSU** (Kogakuin University)

“Oriental Elements in Russian Music and the Reception in Western Europe”

Discussant: **Nobuhiro ITO** (Osaka University)

Reception, 18:30-20:30 at Sapporo Aspen Hotel

7月9日(金)

第4セッション 宗教とイデオロギー

Session 4, 10:00-12:00 Religion and Ideology

Chair : **Kimitaka MATSUZATO** (SRC)

1. **Liudmila ZHUKOVA** (Russian State University for the Humanities)

“Religion and Ideology in Modern (Contemporary) Russia”

2. **Erik SCHICKETANZ** (The University of Tokyo)

“Chinese Buddhism as Seen by Meiji and Taisho Period Japanese Travelers and Scholars”

3. **Masayoshi SUMIKA** (SRC)

“Travelers of One Hundred Years Ago: Social Darwinist Viewpoint of Liang Qichao and Nitobe Inazo”

Discussant: **Vadim ZHDANOV** (Friedrich-Alexander-University, Germany)

第5セッション 越境する作家たち

Session 5, 13:30-15:30 Writers beyond the Borders

Chair: **Go KOSHINO** (SRC)

1. **Lisa Ryoko WAKAMIYA** (Florida State University)

“Russian-American Writing in Transnational Perspective”

2. **Hisae KOMATSU** (SRC)

“Speaking about 'desi': The Sense of Belonging in Contemporary British-Asian Writers”

3. **Naoko SUGIYAMA** (Japan Women's University)

“Usable Past, Unspeakable Secret: Maxine Hong Kingston’s Use of Woman Warrior Characters”

Discussant : **Kumi MOURI** (Hitotsubashi University)

第6セッション 場所の精神

Session 6, 15:45-17:45 Spirit of the Places

Chair: **Tomohiko UYAMA** (SRC)

1. **Elza-Bair GUCHINOVA** (Institute of Ethnology and Anthropology, Russian Academy of Science)

“Post-Soviet Elista: from the USSR – to the Orient”

2. **Tsypylma DARIEVA** (University of Tsukuba)

“Making a Place. Baku Promenade between Orient and Europe”

3. **Mark BASSIN** (Södertörn University, Sweden)

“Eurasianism and Russia's Ambivalent Relationship to Asia”

Discussant : **Yukiko HAMA** (Tsuda College), **Sanami TAKAHASHI** (Hokkaido University)

申し込みフォーム :

<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/cgi/20100707wwwmail.html>

なお、本シンポジウム終了後、同じテーマにまつわるサテライト企画が、会場を京都に移して行われます。概要は以下の通りです。

新学術領域研究国際セミナー「地域大国の文化的求心力と遠心力」

Special Seminar “The Centripetal and Centrifugal Forces of Culture”

Another Eurasia／もうひとつのユーラシア

日時：2010年7月11日（日）13:30～17:30

場所：同志社大学室町キャンパス寒梅館6階大会議室

使用言語：英語

第1部 「文化・境界・地理」 13:30-15:00

司会 諫早勇一（同志社大学）

マーク・バッシン（セーデルテルン大学）

「レフ・グミリョフとユーラシアの心象地理」

リサ＝リョーコ・ワカミヤ（フロリダ国立大学）

「現代ロシア文学における祖国に帰ることのレトリック」

アンナ・フロルコフスカヤ（ロシア芸術科学アカデミー）

「ソ連芸術家の東方への旅—1950-80年代」

第2部 ラウンドテーブル「アジアの新しい形」 15:15-17:30

司会 望月哲男（スラブ研究センター） & エルザ＝バイル・グチノヴァ（ロシア科学アカデミー民族学人類学研究所）

討論者

張英進（カリフォルニア大学）

リュドミーラ・ジューコヴァ（ロシア人文大学）

ヴァジム・ジダーノフ（フリードリヒ・アレクサンダー大学）

ポール・リチャードソン（バーミンガム大学）

2. 第3回全体集会の予定

国際シンポジウムに引き続いて、7月10日(土)午後全体集会在以下の要領で開かれます。今回の全体集会上は、秋に予定されている本領域研究の中間評価に向けて、これまでの研究を集約し、今後の研究の方向性を議論したいと考えています。メンバーの方々は、万障お繰り合わせのうえ参加ください。メンバー(研究代表者・研究分担者・連携研究者・研究協力者)の全体集会上への出席については、総括班で旅費を払う用意がありますので、事務局までご連絡ください。参加申し込みについては、下記ウェブサイト“[申し込みフォーム](#)”よりご登録願います。

新学術領域研究 第3回全体集会上

「これまでの研究の集約と今後の研究の方向性」

日時 2010年7月10日(土) 14:30-17:45

場所 北海道大学スラブ研究センター4階大会議室

●第1部 14:30-16:00

田畑伸一郎(北海道大学)

「ロシア、中国、インドの経済発展モデルの比較」

唐亮(早稲田大学)

「体制移行戦略に関する中露の比較研究」

岩下明裕(北海道大学)

「ユーラシア大国の関係分析と行動比較」

討論

●第2部 16:15-17:45

宇山智彦(北海道大学)

「帝国史の比較:構造・認識・関係性・変化」

山根聡(大阪大学)

「越境者たちの故国への再還元と輪郭の再形成にみる地域大国の比較研究」

望月哲男(北海道大学)

「ユーラシア諸国の文化的相互認識:見えるものと見えないもの」

討論

なお、当全体集会后 18:00 より、北海道大学スラブ研究センター敷地内でバーベキューによる懇親会を予定しています。シンポジウム、全体集会、懇親会の参加申し込みは、次の“申し込みフォーム”から登録できます。

申し込みフォーム：

<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/cgi/20100707wwwmail.html>

3. 『比較地域大国論集』 No.3 発行される

『比較地域大国論集』の第3号として、唐亮編「ユーラシア地域大国の政治比較—共同作業の課題と分析の方法」が2010年3月に発行されました。これは、昨年12月に法政大学市ヶ谷キャンパスで開催された新学術領域研究第2回国際シンポジウムの基調講演とラウンドテーブルの様態を採録したものです。内容については[当領域研究のホームページ](#)からダウンロードすることができます。

4. スラブ研究センターレポート「第1回日中・ユーラシア専門家対話」公開される

新学術領域研究第1班（国際関係）と第3班（経済）の協働により、2010年1月11日に北京で、北海道大学スラブ研究センターと中国国務院発展研究センター欧亜社会発展研究所の共催セミナー「日本と中国のユーラシア専門家による戦略対話」が開催されました。これはスラブ・ユーラシアを専門とする日中学者間の初めての対話で、中国側は北京の一線の研究者が集結し、日本側もインドや中国を専門とする研究者も含めた広い「ユーラシア研究チーム」で対峙しました。日中双方からあらかじめ提出されたテーゼと同時通訳の原稿から、本レポートを作成しました。詳細については、[スラブ研究センターのホームページ](#)からダウンロードできます。なお、会議の討論の一部につきましては、編集上の都合により、本レポートには収録していません。すべてを収録した紙媒体そのものをご希望の方は、当領域研究事務局までご連絡ください。[第1班 岩下明裕]

5. スラブ研究センターの公開講座が終了

スラブ研究センターの今年度の公開講座が、「地域大国比較の試み：ロシアを中国やインドと比べたら何が分かるか？」をテーマに以下の内容で開催されました。

5月10日(月): 田畑伸一郎(北海道大学スラブ研究センター)

「ロシア、中国、インドの共通性: 経済の視点から」

5月14日(金): 山根聡(大阪大学世界言語研究センター)

「アフガニスタンをめぐる「小さな冷戦」ーロシア、中央アジア諸国、中国、インド」

5月17日(月): 伊藤融(防衛大学校国際関係学科)

「新興3カ国の連携の思惑と限界ー国際政治学の視点から」

5月21日(金): 佐藤隆広(神戸大学経済経営研究所)

「BRICsの台頭と世界経済の行方」

5月24日(月): 武田雅哉(北海道大学大学院文学研究科)

「中国の連環画・ポスターに見えるロシア・ソ連イメージ」

5月28日(金): 田原史起(東京大学大学院総合文化研究科)

「都市=農村関係の中露比較」

5月31日(月): 宇山智彦(北海道大学スラブ研究センター)

「グレートゲーム再考: 中央アジアから見た英中露帝国」

受講者数は87名を数えました。受講者に対するアンケートにより、中国やインドに対する関心が予想以上に高かったことが分かりました。

6. 外国人研究員について

第6班では2010年度の外国人研究員として、S. V. シュリーニヴァース氏(インド、バンガロール文化社会研究センター研究員)を招聘することになりました。昨年オックスフォード大学出版より *Megastar: Chiranjeevi and Telugu Cinema After N.T. Rama Rao* を出版し、インド映画及び香港や韓国映画との比較研究および文化産業に関する意欲的な研究で注目を集める気鋭の若手研究者です。

シュリーニヴァース氏は、6月22日から7月15日まで日本に滞在し、大東文化大学、東京外国語大学などで新学術領域研究メンバーと共同研究を行い、また北海道大学で開催される新学術領域国際シンポジウム「ユーラシア諸国におけるアジアの自己表象」にパネリストとして参加する予定です。

7. プロジェクト研究員の今年度の勤務地

本年度における各プロジェクト研究員の配置は、次の通りです。

氏名	博士号取得大学院	勤務地	主な研究協力班
任 哲	早稲田大学	北海道大学スラブ研究センター, 早稲田大学大学院アジア太平洋 研究科	第2班
星野 真	神戸大学	北海道大学スラブ研究センター, 東京大学社会科学部研究科, 神戸 大学経済経営研究所	第3班
福田 宏	北海道大学	北海道大学スラブ研究センター	第4班
小松 久恵	ジャワハルラル・ ネルー大学(インド)	北海道大学スラブ研究センター	第5班
住家 正芳	東京大学	北海道大学スラブ研究センター, 東京大学次世代人文学開発セン ター	第6班

昨年、若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP) の企画に参加するためにプロジェクト研究員の雇用を一次中断されていた任哲さんが、今年8月から復帰されます。また、黛秋津さんが広島修道大学に就職されたため、後任に福田宏さん(元スロヴァキア駐在専門調査員)が採用されました。

8. 今後の予定

7月7日(水)～9日(金)

- 新学術領域研究第3回国際シンポジウム「ユーラシア諸国におけるアジアの自己表象」
(於北海道大学スラブ研究センター)

7月10日(土)

- 新学術領域研究第3回全体集会「これまでの研究の集約と今後の研究の方向性」
(於北海道大学スラブ研究センター)
- 第1班会議 (於北海道大学スラブ研究センター)
- 第4班研究会 (於北海道大学スラブ研究センター)
- 第5班会議 (於北海道大学スラブ研究センター)

- 第6班会議（於北海道大学スラブ研究センター）

7月11日（日）

- 第3班研究会（於北海道大学スラブ研究センター）
- 新学術領域研究国際セミナー「地域大国の文化的求心力と遠心力」（於同志社大学室町）

7月15日（木）

- 地域紛争研究会（公募研究）2010年度第2回例会（於同志社大学今出川）

12月11日（土）～12日（日）

- 新学術領域研究第4回国際シンポジウム（於大阪大学）

9. 各班の研究会情報

第1班

第1班会議

日時：7月10日（土）9:30～

場所：北海道大学スラブ研究センター2階 センター長室

※今回は班員のための会合です。

第3班

第3班研究会

日時：7月11日（日）10:00～（終了時間未定）

場所：北海道大学スラブ研究センター4階小会議室（401号室）

プログラム

10:00～12:00

報告者：Pami Aalto (University of Tampere, Finland/ SRC)

題目：The Emerging New Energy Agenda and Russia: Implications for Russia's Main Markets
in Europe

討論者：本村真澄（JOGMEC）

午後（開始は1時半）のプログラムは未定ですが、次の2つの報告をめぐる討論が行われ

ることは決まっています。

田畑伸一郎（北海道大学）・上垣彰（西南学院大学）

「ロシア、中国、インドの経済発展モデルの比較」

金野雄五（みずほ総合研究所）

「エマージング・エコノミーと WTO 体制の今後」

※メンバー以外の方の参加（一部のプログラムへの参加を含む）も歓迎します。参加申し込み等はとくに必要ありません。

第4班

第4班研究会

日時：7月10日（土） 10:00～11:45

場所：北海道大学スラブ研究センター4階小会議室（401号室）

報告者：Alexander Morrison (University of Liverpool / SRC)

題目：Twin Imperial Disasters: the Invasions of Khiva and Afghanistan in the
Russian and British Official Mind, 1839-41

※ロシアのヒヴァ遠征とイギリスの第1次アフガン戦争という、いずれも1840年前後のほぼ同時期に起き、帝国側にとって失敗に終わった2つの事件を比較しながら、比較帝国論を考える報告です。第4班だけでなく他の班の方にも、ふるってご参加いただければ幸いです。

第5班

第5班会議「国家の輪郭と越境の再形成に関する研究会」

日時：7月10日（土） 10:00～12:00

場所：北海道大学スラブ研究センター4階405号室（セミナー室2）

※今回は班員のための会合です。

第6班

第6班会議

日時：7月10日（土） 10:00～11:30

場所：北海道大学スラブ研究センター4階404号室（セミナー室1）

- 1) 活動の経過について(シンポジウムを中心に)
- 2) 今後の活動計画について(出版計画も含む)
- 3) ドイツの研究集団との共同研究について(インド・中国・ロシアの比較宗教研究)
- 4) その他

※第6班との共同研究を希望される班外の方の参加も歓迎します。

公募研究 (代表者 月村太郎)

地域紛争研究会 2010年度第2回例会

日時：2010年7月15日(木)：時間は未定

場所：同志社大学今出川校地

報告者：Dragana Mitrovic (ベオグラード大学政治学部教授)

題目：未定

※お手数ですが、参加人数の把握の為に、出席される方は事前に[月村](#)までメールにてご連絡ください。

発行者：田畑伸一郎 (領域代表者)

事務局：越野剛，後藤正憲，阿部僚子

電話 011 - 706 - 4809

ファクス 011 - 706 - 4952

メール rp@slav.hokudai.ac.jp

H P <http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/rp/index.html>

住所 〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学スラブ研究センター